

広島西医療センター 臨床実習Ⅱ シラバス

【病院および当院実習の特徴】

当院は平成 16 年 4 月に独立行政法人化された旧国立大竹病院と旧国立療養所原病院が統合・合併され、平成 17 年 7 月に独立行政法人国立病院機構 広島西医療センターとして発足した。

当院の最大の特徴は、旧国立大竹病院という地域の急性期医療を担う病院と、重度心身障がい児・者 および神経・筋難病などの政策医療を含む慢性期医療を担う旧国立療養所原病院の機能が統合され、この両者が両輪となって同時に運営されている点である。

当院は一般病床 440 床を有する地域基幹病院であり、内科、外科などの診療科以外に、血液内科、認知機能疾患科など、他院ではあまり見られない診療科を含む 22 標榜科を有する点も大きな特徴である。

さらに当院は近隣の離島である阿多田島診療所のへき地支援病院であり、地域の医療機関との結びつきも強い上、日本最古のコンビナートの中心である三菱ケミカルでの産業医の実習も可能である。

従って当院での実習は、上記の様々な医療との関わりを経験できる事が最大の特徴と考える。

【実習体制】

- 1) 実習期間は 1 期間 「2 週間 (10 日間)」とする
- 2) 実習人数は 1 期間 1 名とする
- 3) 実習内容はオリエンテーション時に配布する神ファイルまたは電子ファイル (Word、Excel 形式) のポートフォリオに記入する。
(極力個人 PC を持参の事。)
- 4) 電子カルテの閲覧は可能であるが、個人情報を院外に持ち出してはならない。また院内で市営得た情報を院外で口外してはならない。

【到達目標】

医師に求められる基本的姿勢である多角的な視点で広い視野を持って他者を理解し、相手の立場になって考えることが出来るようになるため、医療が実践されている現場を体験することにより、医療業務の内容と相互協力の重要性を理解し、現場の雰囲気と患者および医療スタッフの心情を感じ、今後の全人的医療の実践に役立てる。

【行動目標】

- 1) 全科：患者に不安を与えない面接と、適切な病歴聴取を行える。
- 2) 全科：聴取した病歴に基づき、診断に必要な診察手技、検査の種類を述べる事が出来る。
- 3) 全科：指導医が提出した検査結果に矛盾しない疾患を3つ以上述べる事が出来る。
- 4) 全科：電子カルテ上の模擬患者で、POSによる診療録記載を正しく行える。
- 5) 血液内科：血球数の異常を有する患者に対し、鑑別診断を考慮に入れた病歴聴取が出来る。
- 6) 循環器内科：指導医が行う心臓カテーテル検査の際、モニター画像より血管解剖を述べる事が出来る。
- 7) 医療面接（病歴、身体所見）から臨床推論し鑑別診断を上げることが出来る。
- 8) 消化器内科：指導医が行う内視鏡画像の所見を勘案し、画像に矛盾しない疾患を2つ以上述べる事が出来る。
- 10) 総合診療科：指導医の行う外来診察に同席し、診断に必要と思われる検査の種類を述べる事が出来る。
- 12) 外科：正確な手順での手洗いが出来る。
- 13) 整形外科：上下肢の骨折に関し、発生機序を述べる事が出来る。
- 14) 泌尿器科：内視鏡下手術において第二助手をつとめる事が出来る。

【方略】

- 1) 指導医の指示下の OJT (On-the-Job Training) を基本とする。

【評価 (EV)】

- 1) 形成的評価を行う。
- 2) 評価法は、上記行動目標 (SB0s) ごとに 5 段階の評価点を設定し、それぞれについての自己評価と、各指導責任者による評価を記入する。(資料 1)
- 3) 実習者は自己評価と指導責任者の評価を比較し、乖離のある項目について指導責任者に内容を確認の上、原因を自己分析する。
- 4) 各行動目標の指導医評価点数 (1~5 点、全 16 項目で計 80 点満点) を合計し、56 点 (行動目標達成率 70%) 以上で実習修了とする。
- 5) 上記目標に到達出来なかった場合、実習終了後に当院研修責任者(副院長 新甲)指示の項目についてレポートを提出し、実習修了とする事が出来る。

【指導責任者】

担当指導医	指導科	職位	備考
新 甲 靖	実習統括	院長	広島大学臨床教授
鳥 居 剛	実習責任者	副院長	広島大学臨床教授
浅 野 耕 助	泌尿器科	統括診療部長	
下 村 壮 司	血液内科	臨床研究部長	広島大学客員教授
古 川 年 宏	専門小児科	診療部長	
藤 原 仁	循環器内科	診療部長	
渡 邊 千 種	脳神経内科	部長	広島大学臨床教授
藤 堂 祐 子	消化器内科	部長	
嶋 谷 邦 彦	外科	部長	
永 田 義 彦	整形外科	医長	
生 田 卓 也	総合診療内科	医長	
平 塩 秀 磨	腎臓内科 (血液浄化センター)	医長 (血液浄化センター長)	

I.内科系コース

1 週目：総合診療科

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション	外来診療	外来診療	外来診療	ポートフォリオ記入
午後	病棟診療	救急外来	病棟診療 15時 NST	シミュレーション1	症例まとめ・振り返り

2 週目：血液内科、腎臓内科、消化器内科、脳神経内科、総合診療科より選択

血液内科

	月	火	水	木	金
午前	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	ポートフォリオ記入
午後	病棟診療	病棟診療	病棟診療	シミュレーション2	症例まとめ・振り返り

腎臓内科

	月	火	水	木	金
午前	外来診療・人工透析	外来診療	人工透析	外来診療	人工透析
午後	病棟診療	病棟診療	病棟診療	シミュレーション2	症例まとめ・振り返り

消化器内科

	月	火	水	木	金
午前	外来診療・内視鏡	外来診療・内視鏡	外来診療	外来診療	外来診療
午後	病棟診療	病棟診療	病棟診療	シミュレーション2	症例まとめ・振り返り

脳神経内科

	月	火	水	木	金
午前	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
午後	病棟診療	病棟診療	病棟診療	シミュレーション2	症例まとめ・振り返り

II 外科系コース

1週目：外科

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション	病棟診療	手術	外来診療	手術
午後	病棟診療	救急外来	手術 15時 NST	シミュレーション1	症例まとめ・振り返り

2週目：泌尿器科、外科（総合診療科：手術や学生対応困難なときは午後の総合診療科で実習）より選択

泌尿器科

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション	手術	外来診療	外来診療	外来診療
午後	病棟診療	病棟診察	病棟診療 15時 NST	シミュレーション2	症例まとめ・振り返り

※シミュレーション1：気道確保、用手的人工呼吸、胸骨圧迫

シミュレーション2：AED, 男性の尿道カテーテル挿入、PPE 着脱、(皮膚縫合)

シミュレーションについては希望者のみ行います。オリエンテーション時にお知らせください。

【実習に関する注意事項】

- 1) 実習（見学）当日は10：00頃に外来棟受付までお越し下さい。
来られたら、下記までご連絡下さい。
担当者が迎えに行きます。
- 2) 白衣・名札を準備してください。
- 3) サンドル、スリッパは不可とします。（スニーカーは可）
- 4) 車で来られる方は第1または第2駐車場に留め、帰りに駐車券（無料）を受け取るようにしてください。
電車で来られる方は、山陽本線玖波駅（大竹駅1つ手前、快速は止まりません。）下車、徒歩7-8分です。（地図参照）
- 5) 病院敷地内禁煙です。



もし、実習に関してわからないことなどありましたら、下記までご連絡下さい。

連絡先：〒739-0696 広島県大竹市玖波4-1-1

国立病院機構広島西医療センター

病院代表 TEL：0827-57-7151

副院長 鳥居 剛（研修責任者）

torii.tsuyoshi.ae@mail.hosp.go.jp

【実習中の宿泊について】

- 1) 基本的に広島市内からの「通い」での実習も十分可能です。
(当院医師の8割以上が広島市内から通勤しています)
- 2) **宿泊希望の場合は、実習2週間前までに鳥居までメールで相談の事**
- 4) 宿泊には当院研修医官舎(3LDK×2、男性用1、女性用1、平成17築)を無償で貸与可能(自動車で来院の場合、駐車場も無償で提供可能)です。
- 5) 官舎外観および間取り



- ・ バス(自動給湯)、トイレ、冷暖房完備
- ・ テレビ、洗濯機、冷蔵庫、電子レンジ、ガスコンロ 設置済
(ただし、鍋等の調理器具や食器はなし)、希望あれば電気ポット貸出可能
- ・ 寝具、タオルは当方で提供
- ・ 洗面道具(歯ブラシ・歯磨き・化粧品等)、シャンプー・ボディソープ、ドライヤー等、個人に必要な物品は各自準備の事
- ・ 官舎でのネット環境が必要な場合は、携帯テザリング・ポケットWiFiルーター等を各自準備してください。

【実習中の飲食について】

- ・ 昼食は当院で食事を準備
- ・ 宿泊の場合、朝食、夕食は基本的に各自でご準備ください。
- ・ 院内の飲食施設は「サンヒトリ」「院内コンビニ」（営業時間：8:30～18:00）
- ・ 徒歩圏内にコンビニは2店（セブン・イレブン、ヤマザキ・デイリーストア）
- ・ 大型スーパー（ゆめタウン大竹店）まで病院から1.5km
- ・ 飲食店は車で5分～10分圏内、国道2号線沿いに多数あります。

（平成 25 年 09 月 30 日作成	Ver. 1.00	作成者：新甲 靖
（平成 26 年 11 月 04 日修正	Ver. 1.01	修正者：新甲 靖
（平成 27 年 09 月 28 日修正	Ver. 1.02	修正者：新甲 靖
（平成 28 年 09 月 23 日修正	Ver. 1.03	修正者：新甲 靖
（平成 29 年 10 月 06 日修正	Ver. 1.04	修正者：新甲 靖
（平成 30 年 07 月 20 日修正	Ver. 1.05	修正者：新甲 靖
（令和 01 年 11 月 12 日修正	Ver. 1.06	修正者：新甲 靖
（令和 02 年 10 月 26 日修正	Ver. 1.07	修正者：新甲 靖
（令和 03 年 10 月 19 日修正	Ver. 1.08	修正者：新甲 靖
（令和 04 年 10 月 21 日修正	Ver. 1.09	修正者：鳥居 剛
（令和 05 年 01 月 13 日改訂	Ver. 2.00	修正者：鳥居 剛
（令和 05 年 10 月 18 日改訂	Ver. 2.01	修正者：鳥居 剛